

2025年度 看護学部に入学者の方と保護者の方へ
～感染症予防に関するお願い～

広島国際大学看護学部
 学部長 松本 睦子

この度は合格おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。大学生活について、期待と不安の気持ちを抱いている方も多いかと思えます。

さて、看護学部では学内での講義・演習だけでなく医療施設での実習も行われ、最初に「基礎看護学実習Ⅰ」が1年次の2月から開始されます。そのための準備として、皆さんと患者さんを守るため、感染予防のための対応をお願いしたいと思えます。

「麻疹」「風疹」「水痘・带状疱疹」「流行性耳下腺炎」に関して

1. 近くの病院や医院（クリニック）などで、「麻疹（はしか）」「風疹（三日ばしか）」「水痘・带状疱疹（みずぼうそう）」「流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）」の免疫があるかどうかの血液検査を受けて下さい。血液検査の方法は、感度が高い方法「酵素抗体法（EIA法）」を必ず指定して下さい。赤血球凝集抑制試験（HI法）など精度が低い分、安価な検査法もありますが、十分な信頼性がない場合には検査結果として認められないこともあるのでご注意下さい。
2. 血液検査の結果から、「2回の予防接種が必要（免疫がない）」、「1回の予防接種が必要（免疫が十分でない）」と判定された場合には、必要回数のワクチンを接種して下さい。これらは生ワクチンですので、それぞれの接種の間は4週間空ける必要があります。
 過去に感染したことがある場合やワクチンを接種したことがある場合でも、時間の経過に伴い免疫が低下し、再度ワクチンの接種が必要となる場合があります。

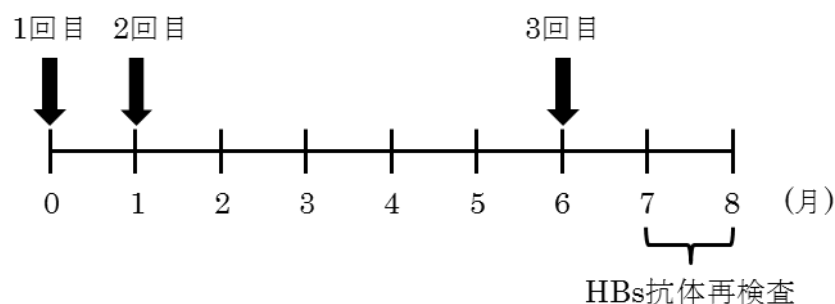
感染症名と検査法	検査結果（抗体価）と判定		
	2回の予防接種が必要 （免疫がない）	1回の予防接種が必要 （免疫が十分でない）	今すぐの予防接種は不要 （免疫が十分にある）
麻疹 （IgG/EIA法）	2.0未満	2.0～16.0未満	16.0以上
風疹 （IgG/EIA法）	2.0未満	2.0～8.0未満	8.0以上
水痘・带状疱疹 （IgG/EIA法）	2.0未満	2.0～4.0未満	4.0以上
流行性耳下腺炎 （IgG/EIA法）	2.0未満	2.0～4.0未満	4.0以上

「B型肝炎」に関して

1. 近くの病院や医院（クリニック）などで、HBs 抗原および HBs 抗体（ともに CLIA 法または CLEIA 法）の血液検査を受けて下さい。血液検査の方法は、感度が高い方法「CLIA 法または CLEIA 法」を必ず指定して下さい。安価な検査法もありますが、十分な信頼性がない場合には検査結果として認められないこともあるのでご注意下さい。
2. 血液検査の結果から、
 - ・ HBs 抗原陰性かつ HBs 抗体陰性の場合：B型肝炎ウイルスに過去に感染したことがなく、抗体ができていない状態です。
⇒B型肝炎ワクチンの接種（原則3回）が必要です。また、3回目のB型肝炎ワクチンの接種が終わって1～2か月後に、HBs抗体（CLIA法またはCLEIA法）を再検査して、抗体ができたかどうかを確認して下さい。
 - ・ HBs 抗原陽性かつ HBs 抗体陰性の場合：B型肝炎ウイルスが体内に存在する状態です。
⇒医療機関での精密検査が必要です。
 - ・ HBs 抗原陰性かつ HBs 抗体陽性の場合：B型肝炎ウイルスに過去に感染したか、ワクチンの接種により抗体ができています。
⇒ワクチン接種は不要です。

参考) B型肝炎ワクチンを接種する場合のスケジュール

B型肝炎ワクチン



「C型肝炎」に関して

1. 近くの病院や医院（クリニック）などで、HCV 抗体（第3世代抗体）（CLIA 法または CLEIA 法）の血液検査を受けて下さい。
 2. 血液検査の結果から、
 - ・ HCV 抗体陰性の場合：C型肝炎ウイルスに過去に感染したことがない状態です。
⇒現在のところ C型肝炎ウイルスに対するワクチンはありませんので、対応は不要です。
 - ・ HCV 抗体陽性の場合：C型肝炎ウイルスが体内に存在する可能性が高い状態です。
⇒医療機関での精密検査が必要です。
- *HCV 抗体は「感染抗体」といい、抗体ができて C型肝炎ウイルスを排除することができません。「麻疹」「風疹」「水痘・带状疱疹」「流行性耳下腺炎」「B型肝炎」の抗体とは意味合いが異なります。

「感染症関連記録」の提出のお願い

同封の「感染症関連記録Ⅰ（麻疹、風疹、水痘・带状疱疹、流行性耳下腺炎）」は、必要なワクチン接種をすべて済ませて 2025年10月10日（金）までに提出をお願いします。

「感染症関連記録Ⅱ（B型肝炎、C型肝炎）」は、ワクチン接種や接種後のHBs抗体の再検査が間に合わない場合には、途中までの結果を上記期日までに一旦提出し(コピー可)、最終結果は2026年4月17日（金）までに提出してください。

（提出先：呉キャンパス1号館3階 学部事務室）

感染症関連記録 提出スケジュール

2025年10月10日：感染症記録Ⅰ（原本提出） 感染症記録Ⅱ（コピー提出）

2026年4月17日：感染症記録Ⅱ（原本提出）

保護者の方には金銭のご負担をおかけしますが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。なお、本学部のワクチン接種については日本環境感染学会 発行の「医療関係者のためのワクチンガイドライン 第3版」に準拠して行っています。

参照：日本環境感染学会 医療関係者のためのワクチンガイドライン

http://www.kankyokansen.org/modules/publication/index.php?content_id=17

ご注意

- * 「提出がない場合」、「十分なワクチン接種がなされていない場合」は、医療機関での病院実習の受け入れが認められず単位取得が参加できないため進級・卒業できません。
- * アレルギー体質や自己免疫疾患、ステロイド（副腎皮質ホルモン）など内服中等の理由により、ワクチン接種ができない場合には、必ず医師に「感染症関連記録」にその旨を記載してもらってください。
- * 複数のワクチン接種が必要となった場合（新型コロナワクチン接種も含む）は所定の間隔を空けなければならないことや、B型肝炎ワクチンは3回（初回・1か月後・6か月後）の接種が必要となることから、できるだけ早く（遅くとも4月の授業が始まるまでに）、「感染症関連記録Ⅰ、Ⅱ」と「医療機関各位（p.4）」を持って、お近くの病院や医院（クリニック）などを受診されることをお勧めします。
- * 「感染症関連記録」の内容は、個人情報として看護学部が厳重に管理し、原則として第三者に開示しません。ただし、1) 感染において緊急を要する場合（学生や患者さん等への感染の可能性がある場合など）、2) 実習受け入れに際し実習先医療施設から提出を求められた場合などには情報を開示する場合があることをご承知おきください。
- * 例年、学生が検査・ワクチン接種や提出などについて理解していないケースが見受けられます。保護者の方には、入学される方とともに注意事項を熟読し、「感染症関連記録Ⅰ・Ⅱ」の提出についてご確認いただき、期日内提出の徹底にご協力ください。「感染症関連記録Ⅰ・Ⅱ」の用紙と、この用紙は、入学される方が保管してください。

提出先・連絡先：広島国際大学学部事務室（呉キャンパス1号館3階）

TEL 0823-73-8901

医療機関 各位

本学看護学部では、入学者自身の感染予防、および入学後に実施する実習で利用する実習施設等での感染拡大防止の観点から、以下の検査実施をしています。また、検査の結果、基準値に満たない場合は、ワクチン接種を実施しています。

以下の検査やワクチン接種をお願いします。

【抗体価検査およびワクチン接種】

1. 初回の検査項目（7項目）

- ①麻疹、風疹、水痘・带状疱疹、流行性耳下腺炎のIgG抗体（EIA法）
- ②B型肝炎（HBs抗原、HBs抗体：CLIA法もしくはCLEIA法）
- ③C型肝炎（HCV抗体：CLIA法もしくはCLEIA法）

2. ワクチン接種

- ①麻疹、風疹、水痘・带状疱疹、流行性耳下腺炎
 - ・1回の予防接種が必要（免疫が十分でない）：ワクチン接種1回
 - ・2回の予防接種が必要（免疫がない）：ワクチン接種2回
 - ②HBs抗原陰性かつHBs抗体陰性の場合：ワクチン接種3回
- *ワクチン接種できなかった場合は、理由を（ ）に記載する。

3. B型肝炎3回目のワクチン接種の1~2カ月後に「HBs抗体価」の再検査

【記載に関する留意点】

「感染症関連記録Ⅰ・Ⅱ」は、以下に留意して記載をお願いします。

- ・医療機関・医師名の「**記載日**」は、**最終受診日（年は西暦）**を記載する。
- *最終受診日とする日付は抗体検査やワクチン接種、ワクチン後の抗体価検査がすべて完了した日とします。以下に沿ってご記入ください。

- 1) 検査後の予防接種が不必要な場合：抗体検査日か、それ以降
- 2) 検査後に予防接種が必要であり同一の医療機関で予防接種を行う場合：全ての予防接種が完了した日か、それ以降
- 3) 検査後にB型ワクチン接種が必要な場合は、ワクチン接種後の再検査日か、それ以降

- ・2か所目の医療機関では、「**医療機関・医師名**」「**追加記載日**」を記載する。
- ・誤記入箇所には、**二重線**と**訂正印**が必要です。

*「感染症関連記録Ⅰ・Ⅱ」は実習（外部医療機関）の際に必要となりますので、不備のないようにお願いします。

*なお、本学部のワクチン接種については日本環境感染学会 発行の「医療関係

者のためのワクチンガイドライン 第3版」に準拠して行っています。

参照：日本環境感染学会 医療関係者のためのワクチンガイドライン
http://www.kankyokansen.org/modules/publication/index.php?content_id=17

広島国際大学看護学部看護学科